

事務事業名		CO2削減・ライトダウンキャンペーン推進事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり				担当組織	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課		
	政策	3 環境にやさしいまちづくり				担当係	環境政策係	担当課長名	大越裕之			
	施策	3 再生可能エネルギーの普及と省エネルギー対策の推進				新規事業・継続事業		継続事業				
	基本事業	2 省エネルギー対策の推進				実施計画事業・一般事業		一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				市単独事業・国県補助事業	市単独事業	
						任意的事業・義務的事業		任意的事業				
						実施方法		一部委託				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	22年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市環境基本条例				事業区分	事業分類	その他市民に対する事業
						リーディングプロジェクト		該当なし				
						市長マニフェスト		4-1				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
環境省にて2003年より実施している「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」にあたり、地球温暖化防止のため、ライトアップ施設や家庭の電気の消灯を呼びかけ、日頃いかに照明に頼っているかを実感してもらい、日常生活の中で温暖化対策を実践する動機付けを目的とした地球温暖化防止のための啓発活動を行う。					・ライトダウンイベントの開催(7月佐野駅周辺) ・市民、事業所等へのライトダウンキャンペーンの協力依頼(広報さの掲載)						
					活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					ライトダウンイベントの開催	回	1	1	1	1	1
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
市民事業所					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					人口	人	123,182	122,582	121,522		
					世帯数	世帯	49,170	49,531	49,773		
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
日頃いかに照明に頼っているかを実感してもらい、ライトダウンで電気使用量の低減、CO2排出量の削減により地球温暖化防止対策の一例を実践してもらう。					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
					ライトダウンイベントに参加した市民の数	人	300	500	600	600	600
					ライトダウンに参加した事業所	件	173	165	-	-	-
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
省エネルギー対策に十分取り組んでいる。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
					年間使用電力量が前年度より減少した世帯の割合	%	-	24.6	21.0	22.0	23.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円								
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
	人件費	人	2	2	2					
のべ業務時間	時間	100	100	100						
人件費計(B)	千円	389	394	394	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	389	394	394	0	0				

事務事業名	CO2削減・ライトダウンキャンペーン推進事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境政策係
-------	------------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	環境に配慮した事業活動や、日常生活での取り組みが求められている中、電気使用量の低減に伴うCO2排出量の削減による地球温暖化防止の取組を推進するため、環境省が毎年実施している「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」に合わせ、平成20年度よりライトダウンイベントを開催してきた。また、平成22年度より市内事業者にも夏至と七夕の2日間のライトダウンを呼び掛けてきた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	地球温暖化は、さらに深刻化していくことが予想されるため、市民、事業所、民間団体、NPO等と連携をとり、地球温暖化防止対策の啓発活動の一つである「ライトダウン」の推進は、今後も重要視されるものと思われる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	日頃、いかに電気の照明に頼っているかを実感してもらおうとともに、地球環境や自然環境について考える機会をもうけることは大変重要である。(参加者、事業所、民間団体等)

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	「現状維持により対象外」

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 CO2削減、地球温暖化防止のためのライトダウンキャンペーンの実施は、省エネ対策に取り組むことになるため政策体系に結びついている。 日頃いかに照明を使用しているかを実感してもらい、ライトダウンで電気使用量の低減、CO2排出量の削減により地球温暖化防止対策の一例を実践してもらうことは、結果に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 地球温暖化防止は、人類危急の課題であり、環境基本計画に基づき、市民、事業所、環境保護活動を行う民間団体やNPOとの協働により推進する必要があるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 地球温暖化防止を推進するためには、市民や事業所との協働が必要であるため対象の設定は妥当である。 日頃いかに照明を使用しているかを実感してもらい、ライトダウンで電気使用量の低減、CO2排出量の削減により地球温暖化防止対策の一例を実践してもらうことは意図として妥当である。 ライトダウンキャンペーンの対象と意図は当面変更はないと思われる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 人件費のみの事業であり、啓発活動を積極的に進めている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 人件費のみの事業であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求めない	理由・改善案 受益者は、不特定多数の市民であるため受益者は特定されず、負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 地球温暖化防止のための啓発活動が一般的になり、自発的に活動等を行うようになり、啓発を行う必要がなくなったとき。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																			
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	